

2025年(令和7年)

10月8日 水曜日

夕刊

神戸新聞

自然の味を守って…

植垣米菓
UEGAKI BEIKA

www.uegaki-beika.co.jp

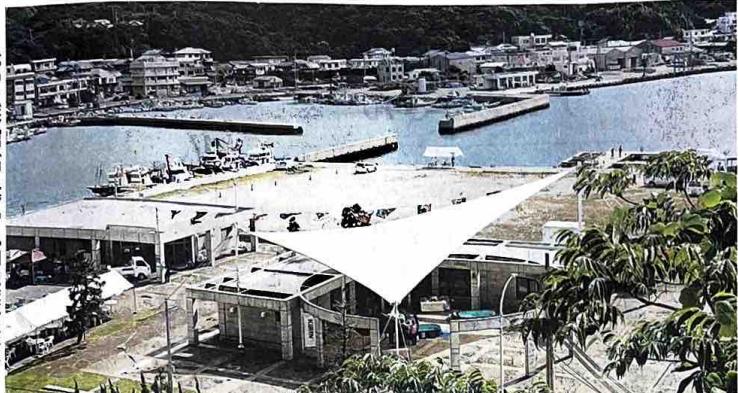
新聞社 〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7

https://www.kobe-np.co.jp

購読・配達お問い合わせ 0120-16-8349 10:00~17:00

南あわじ市・丸山漁港

魚の学習施設や食堂、釣り堀整備



元の魚彩館(中央)や丸山漁業活性化センター(左)を活用し、食堂や海洋環境学習施設などをつくる丸山漁港
一帯=南あわじ市阿那賀

南あわじ市阿那賀の丸山漁港で、地元で取れた魚を使った学習施設や食堂、海上釣り堀などを整備する計画が進んでいる。昨年の改正法施行で、漁港内のスペースを民間企業が活用できるようになつたことが背景にあり、活用事業の策定は全国3例目といふ。昨年3月に閉館した市有の直売所や住民施設もリニューアルし、2027年春のオープンを予定している。(劉楓音)



丸山漁港はタイ漁が盛んで、大正時代から皇位継承時の大嘗祭に干物を献上。「帆上鯛」のブランド化に取り組んでおり、「カメ」の養殖でも知られる。ただ、漁獲量全体は低迷が続く。南あわじ漁業協同組合青年部の小磯知也さん

27年春オープン 漁業者「士気高まる」

■漁獲量の低迷

(37)は「水温の上昇や海の栄養塩不足が原因。漁だけ

で食べていくのは難しい時

代だ」とほ。

全国的に、漁港の新たな

収益化事業は課題となつて

おり、国は2022年に、

37)は「水温の上昇や海の

栄養塩不足が原因。漁だけ

で食べていくのは難しい時

代だ」とほ。

全国的に、漁港の新たな

収益化事業は課題となつて